

2007年3月期(2006年度) 第3四半期決算概要

**2007年2月6日
日本電気株式会社**

＜将来予想に関する注意＞

本資料にはNECおよび連結子会社（以下NECと総称します。）の戦略、財務目標、技術、製品、サービス、業績等に関する将来予想に関する記述が含まれています。将来予想は、NECが証券取引所や米国証券取引委員会等の規制当局に提出する他の資料および株主向けの報告書その他の通知に記載されている場合があります。NECは、そのような開示を行う場合、将来予想に関するセーフハーバー（safe-harbor）規則を定めている1995年米国民事証券訴訟改革法（Private Securities Litigation Reform Act of 1995）その他の適用法令に準拠しています。

これらの記述は、現在入手可能な仮定やデータ、方法に基づいていますが、そうした仮定やデータ、方法は必ずしも正しいとは限らず、NECは予想された結果を実現できない場合があります。また、これら将来予想に関する記述は、あくまでNECの分析や予想を記述したものであって、将来の業績を保証するものではありません。このため、これらの記述を過度に信頼することは控えるようお願いいたします。また、これらの記述はリスクや不確定な要因を含んでおり、様々な要因により実際の結果とは大きく異なりうることをあらかじめご承知願います。実際の結果に影響を与える要因には、(1) NECの事業領域を取り巻く国際経済・経済全般の情勢、(2) 市場におけるNECの製品、サービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力、(3) 激しい競争にさらされた市場においてNECが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供し続けていくことができる能力、(4) NECが中国等の海外市場において事業を拡大していく能力、(5) NECの事業活動に関する規制の変更や不透明さ、潜在的な法的責任、(6) 市場環境の変化に応じてNECが経営構造を改革し、事業経営を適応させていく能力、(7) 為替レート（特に米ドルと円との為替レート）の変動等があります。将来予想に関する記述は、あくまでも公表日現在における予想です。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、新たな情報、将来の事象その他にかかわらず、NECがこれら将来予想に関する記述を見直すとは限りません。

本資料に含まれる経営目標は、予測や将来の業績に関する経営陣の現在の推定を表すものではなく、NECが事業戦略を遂行することにより経営陣が達成しようと努める目標を表すものです。

本資料に含まれる記述は、証券の募集を構成するものではありません。いかなる国・地域においても、法律上証券の登録が必要となる場合は、証券の登録を行う場合または登録の免除を受ける場合を除き、証券の募集または売出しを行うことはできません。たとえば、米国において証券の公募が行われる場合には、1933年米国証券法に基づく証券の登録が行われ、NECおよび経営陣に関する詳細な情報ならびに財務諸表が掲載された英文目論見書をもって公募を行うこととなります。

（注）

当社は連結財務諸表作成に関する会計基準を「米国基準」から「日本基準」に変更しております。

フリー・キャッシュ・フローは営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの合計です。

自己資本は、「純資産合計」から「新株予約権」および「少数株主持分」を控除したものです。

D/Eレシオは、有利子負債残高を自己資本で除して計算したものです。

自己資本比率は、自己資本を「資産合計」で除して計算したものです。

● 改善報告書の提出について

- ▶ 1月26日 東京証券取引所等に改善報告書を提出
 - ・ 経理部門の増強、チェック体制の強化等

市場からの信頼回復に全力を尽くします

● 米国証券取引所(SEC)向け 年次報告書(様式20-F)の状況

- ▶ ITソリューション事業における複合契約に関する収益認識
 - ―― 保守・サポートサービスの公正価値に関する販売者特有の客観的証拠(VSOE) ―― に関するデータの収集・分析中

年次報告書の提出に向けて鋭意努力してまいります

I .07 / 3期3Q決算概要

07/3期 第3四半期(3Q)実績サマリー

(単位:億円)

FY06/3	
3Q	9ヶ月累計
実績	実績

FY07/3	
3Q	
実績	前年同期比

FY07/3 通期	
9ヶ月累計	
実績	前年同期比

売上高	11,798	34,636
営業利益 (売上高比%)	239 2.0%	289 0.8%
経常損益	233	40
当期純損益 (売上高比%)	118 1.0%	115 0.3%
1株当り純損益:基本的(円)	5.92	5.81

10,961	-7%
350 3.2%	+111
229	-4
26 0.2%	-92
1.21	-4.71

33,177	-4%
425 1.3%	+136
111	+71
-73 -0.2%	-188
-3.73	-9.54

フリー・キャッシュ・フロー	-319	-263
総資産	39,276	
自己資本	10,433	
有利子負債残高	11,086	
D/Eレシオ(倍)	1.06	
自己資本比率	26.6%	

-878	-559
37,434	-1,842
10,386	-47
9,654	1,432減
0.93	0.13改善
27.7%	+1.1%

-467	-204
------	------

3Qのポイント

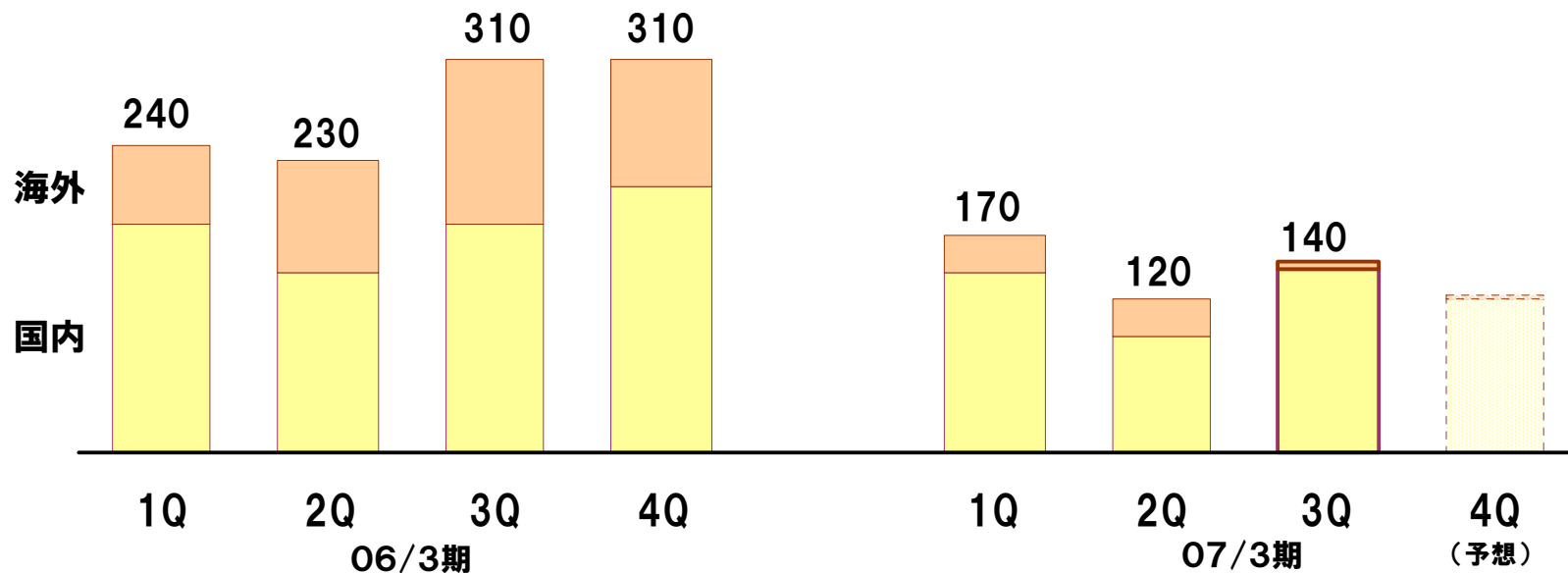
- **営業利益350億円。前年同期比111億円増**
 - ▶ **モバイル/パーソナル事業は3Q黒字化**
～モバイルターミナルのターンアラウンドは順調に進捗
 - ▶ **半導体事業は、2Q比悪化**
 - **NGN時代に向けた成長戦略の進展**
 - ▶ **キャリアネットワークの売上は高水準を維持**
 - ▶ **NGN関連ビジネスへの取組み強化**
- ⇒ **通期業績目標達成に努力**
- ▶ **半導体事業のリスク見極め、損益改善施策検討**

モバイルターミナル事業の改善状況

● 3Q営業利益ブレークイーブン

- ▶ 海外: 2. 5G収束により損失減少
- ▶ 国内: 出荷台数2Q比4割増
MNP開始の影響、新機種の投入など

出荷台数推移 (万台)



モバイルターミナル事業の改善状況 ～商品力の強化～

- 魅力的なデザイン、軽量/薄型化、長時間使用、使い勝手の改善

[4Q新商品]

N703i μ : 基本性能を維持し、11.4mmの世界最薄*を実現

N703iD: より深化した佐藤可士和氏デザイン機

N903i: 高解像度・さくさく感。

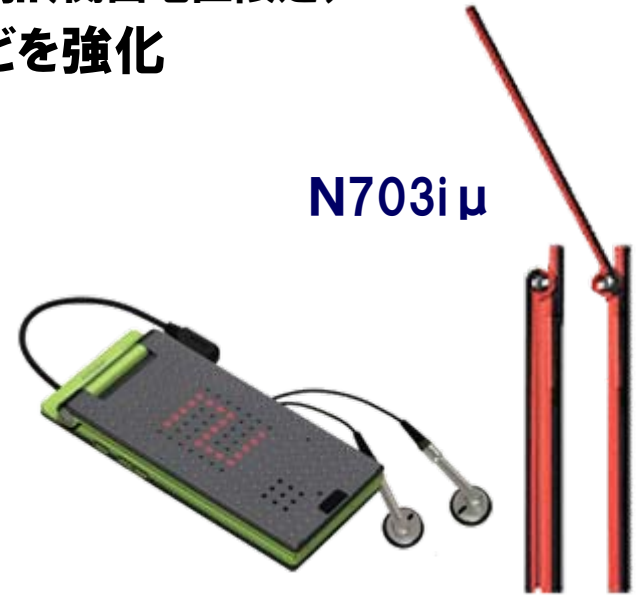
サマンサタバサ・コラボ・モデルを追加(関西地区限定)

N902iL: セキュリティ機能、無線LAN機能などを強化



N703iD

N903i
(プラチナピンク)



N703i μ

*W-CDMA折りたたみ携帯電話として

半導体事業(NECエレクトロニクス)の状況

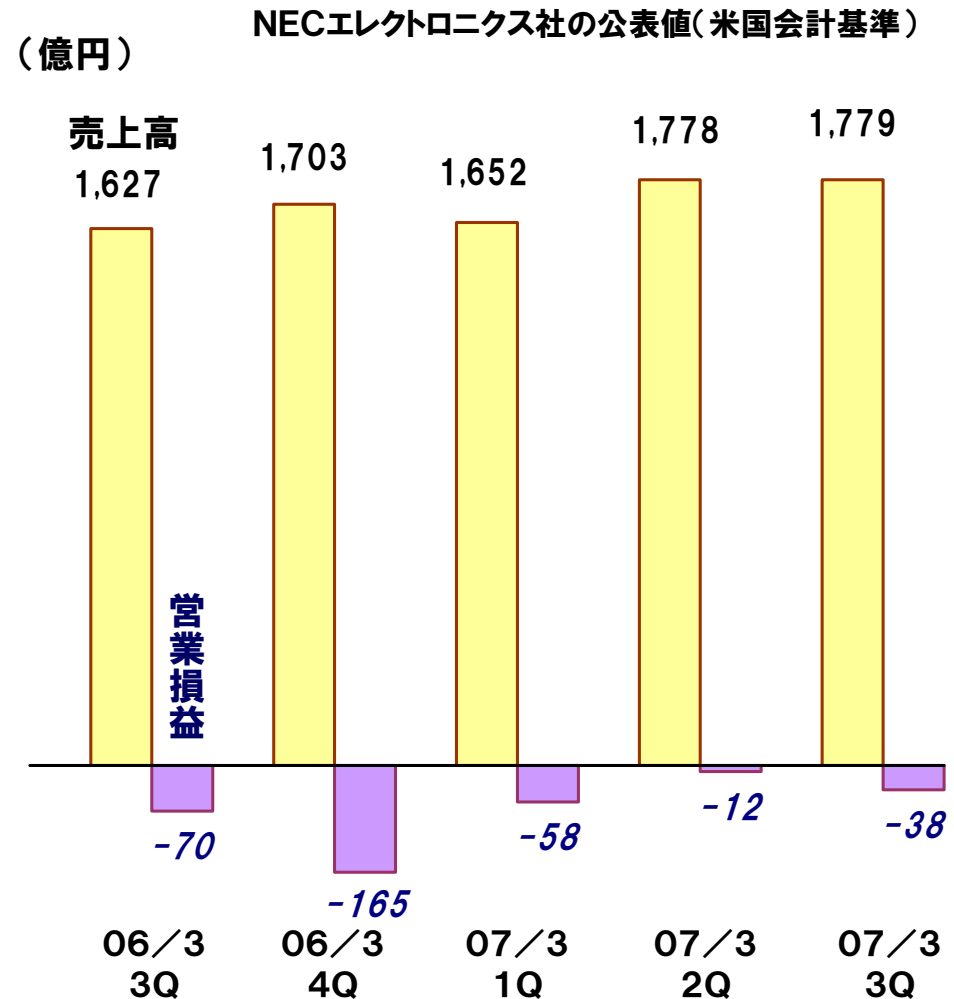
業績回復遅れの要因

- ▶ 強い製品の不足
- ▶ 製造コストの高さ

新たな成長戦略と構造改革

- 売上の再拡大
 - ▶ 製品開発力の強化など
- コスト競争力の強化
 - ▶ 生産体制見直し
 - ▶ 設備投資/R&Dの効率化など

NECエレクトロニクス業績推移



NGN関連ビジネスの進捗

※ NGN: 次世代ネットワーク

● ITU TELECOM WORLD 2006出展 (12/4-8)

- ▶ 展示、フォーラムを通じて「NEC's NGN」を世界にアピール

● NTTのNGNフィールドトライアルに参加 (12/20-)

- ▶ 展示サービス: ロボットによる優しい見守りサービス
- ▶ 技術提供: ネットワークサービス基盤ソフト「NC7000シリーズ」など

● NGN対応製品の投入

- ▶ サービス集約スイッチ「CX2600/200シリーズ」強化 (07年2/5発表)
- ▶ ハイブリッド多重化装置「SpectralWave UN5000」 (12/1発表)



CX2600/200

「NGN受注目標 年間1000億円以上」に向け順調に進捗

II.セグメント別事業の状況

07/3期 3Q セグメント別実績

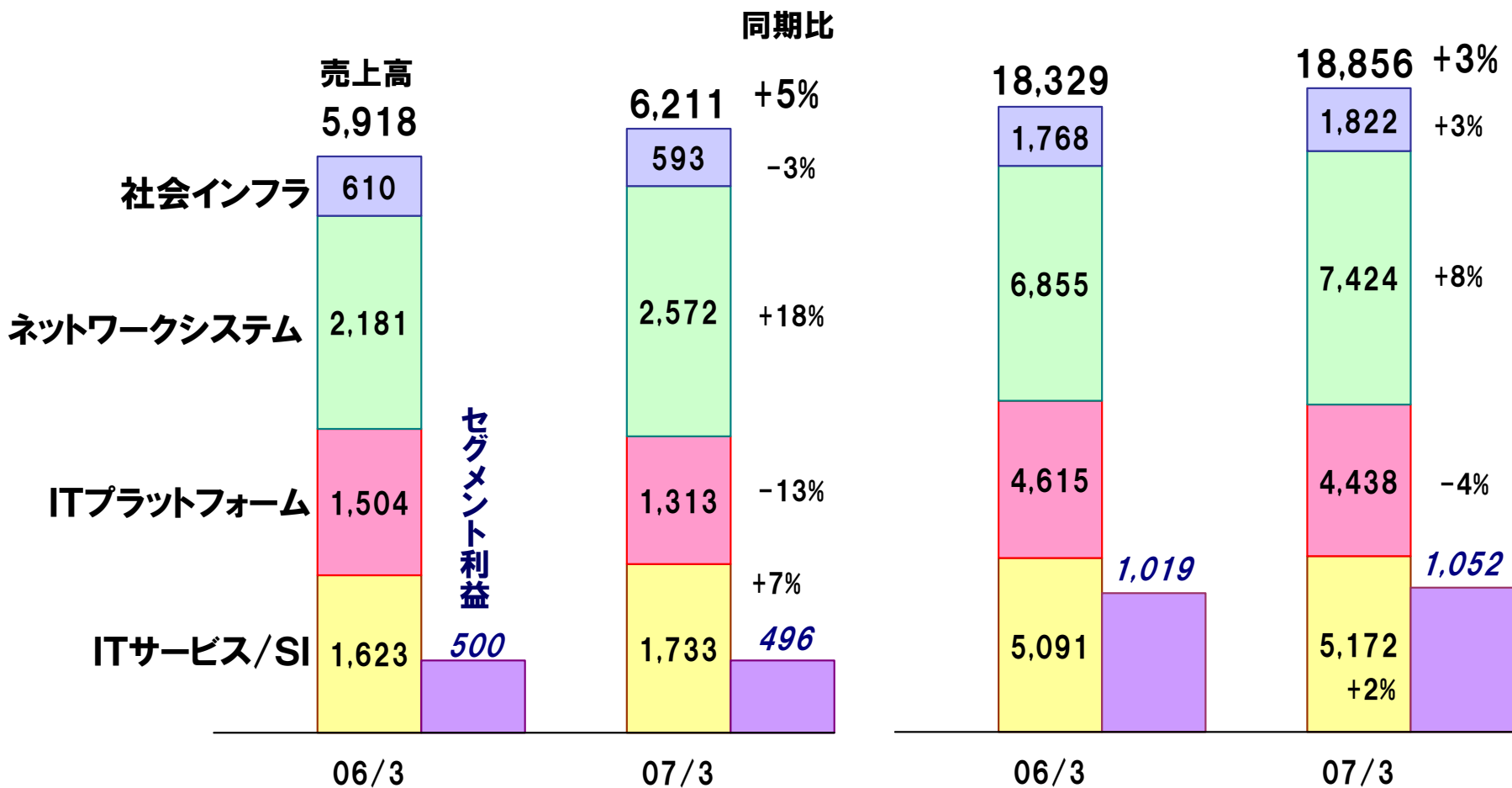
(単位:億円)		06/3期		07/3期		07/3期	
		3Q実績	9ヶ月累計	3Q実績	前年同期比	9ヶ月累計	前年同期比
IT/NWソリューション事業	売上高	5,918	18,329	6,211	+5%	18,856	+3%
	営業損益	500	1,019	496	-4	1,052	+33
	利益率	8.4%	5.6%	8.0%		5.6%	
モバイル/パーソナルソリューション事業	売上高	3,406	9,207	2,266	-33%	7,256	-21%
	営業損益	-148	-305	24	+172	-350	-45
	利益率	-4.3%	-3.3%	1.1%		-4.8%	
エレクトロニクスデバイス事業	売上高	2,080	6,065	2,222	+7%	6,493	+7%
	営業損益	-45	-148	-19	+26	-62	+86
	利益率	-2.2%	-2.4%	-0.9%		-1.0%	
その他 / セグメント間消去他	売上高	394	1,035	262	-	572	-
	営業損益	-68	-277	-151	-83	-215	+62
	利益率	-	-	-		-	
合計	売上高	11,798	34,636	10,961	-7%	33,177	-4%
	営業損益	239	289	350	+111	425	+136
	利益率	2.0%	0.8%	3.2%		1.3%	

① IT/NWソリューション事業

(億円)

<3 Q>

<9ヶ月累計>



3Q売上高・営業利益の状況

[①IT/NWソリューション事業]

■ ITサービス/SI

◇ 売上拡大と原価低減で増益を達成

- ＜好調領域＞
- ・通信キャリア向けサービスプラットフォーム
 - ・金融、流通における競争力強化投資
 - ・官公庁におけるシステム最適化や新たなシステム構築案件

■ ITプラットフォーム

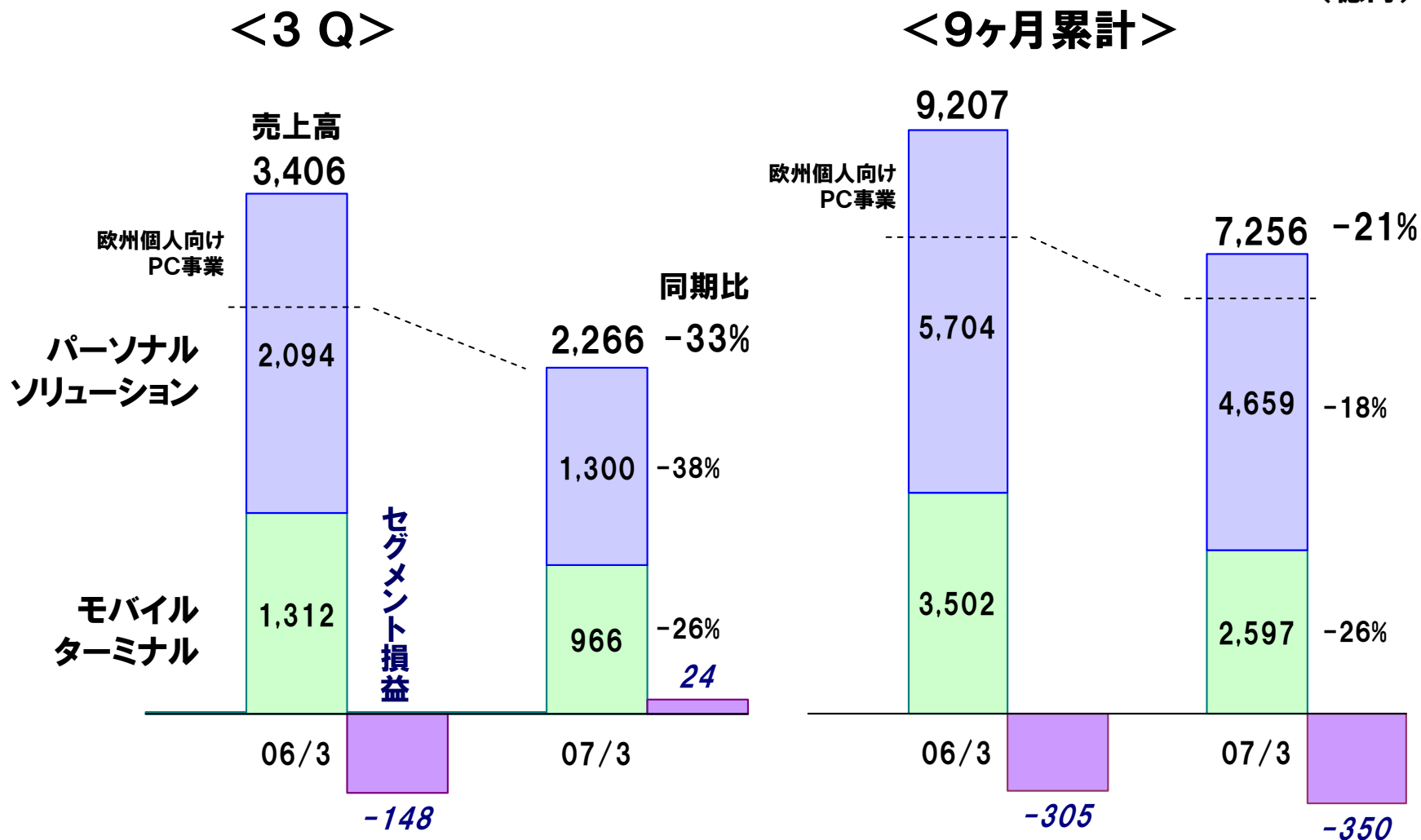
◇ 前年に大型案件等あり減収も、ソフトウェア、オープンサーバは堅調

■ ネットワークシステム

- ◇ パソリンクはアジア・ロシアを中心にさらに伸長
- ◇ MNP開始後も国内基地局投資が2Qレベルを継続
- ◇ 企業向けネットワークは堅調な国内需要と
フィリップスとの合併連結効果により売上伸長

② モバイル/パーソナルソリューション事業

(億円)



3Q売上高・営業利益の状況

[②モバイル/パーソナルソリューション事業]

■ パーソナルソリューション

◇ 売上高減少の中、想定通りの黒字を確保

売上減少：欧州個人向けPC事業売却の影響

国内PC市場の厳しさ継続

収益確保：部材コストなど、原価/費用低減

◇ Windows Vista搭載モデルを販売開始（1月30日）

■ モバイルターミナル

◇ 3Q営業利益ブレイクイーブン

海外事業：2.5G収束により損失縮小

国内事業：出荷台数2Q比4割増

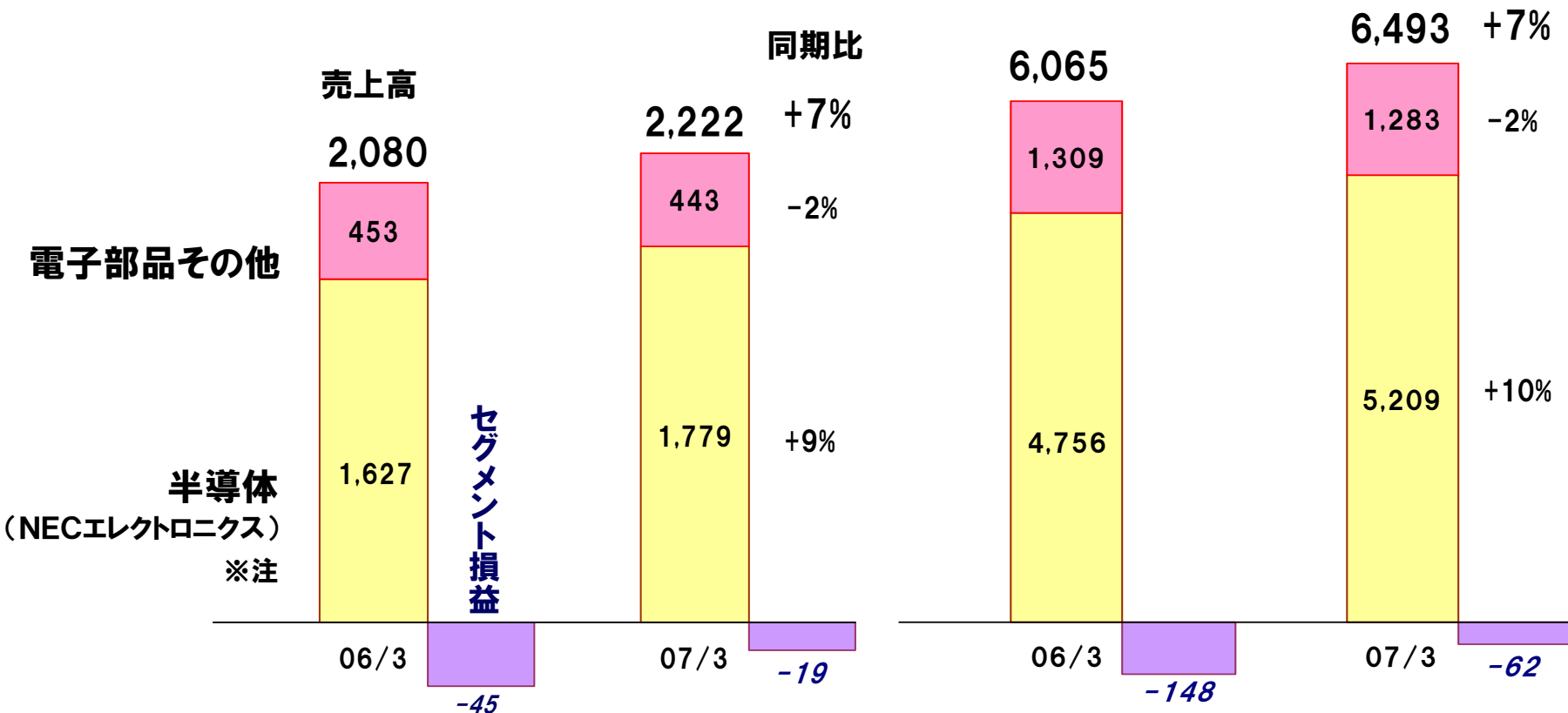
MNP開始の影響、新機種投入など

③ エレクトロデバイス事業

(億円)

<3 Q>

<9ヶ月累計>



(億円)	06/3	07/3
	3Q	3Q
半導体営業損益 (NECエレクトロニクス)	-70	-38

(億円)	06/3	07/3
	9ヵ月累計	9ヵ月累計
半導体営業損益 (NECエレクトロニクス)	-192	-108

※注 半導体分野の業績は、NECエレクトロニクス(株)が米国会計基準に準拠した財務諸表を公表しているため、NECエレクトロニクスの公表値(米国会計基準)で表記しています。日本会計基準への修正による差異は、電子部品その他分野に含まれています。

通期業績目標と今後の成長に向けて

- 半導体事業のリスク見極め、損益改善施策検討
- モバイルターミナル事業のターンアラウンド完遂
 - ▶ 通常オペレーション下期ブレイクイーブンへ
 - ▶ 魅力ある商品の提供
- NGN関連事業の拡大

Empowered by Innovation

NEC